

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 29 日 (2007.3.29)

【公表番号】特表 2002-536089 (P2002-536089A)
 【公表日】平成 14 年 10 月 29 日 (2002.10.29)
 【出願番号】特願 2000-597037 (P2000-597037)
 【国際特許分類】

A 6 3 H 17/395 (2006.01)
A 6 3 H 30/02 (2006.01)
A 6 3 H 30/04 (2006.01)
A 6 3 H 33/08 (2006.01)

【F I】

A 6 3 H 17/395
 A 6 3 H 30/02 C
 A 6 3 H 30/02 Z
 A 6 3 H 30/04 A
 A 6 3 H 33/08 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 2 月 5 日 (2007.2.5)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 サブプログラム呼出リストを指定することで個々に起動され得るサブプログラム (R 1、R 2、．．．、R 6) を備えるメモリ (117、509) に格納されたプログラム形式の命令を実行できるマイクロプロセッサ (102、507) と、

該命令に反応して制御され得る起動手段により移動できる組立要素と相互に連結可能な結合手段と、を備えるマイクロプロセッサ制御の玩具組立要素 (101、501) であって、

前記サブプログラムのリストの呼出をそのプログラミングのため第 2 の玩具組立要素 (502) に伝送できる通信手段 (504、505) を備えることを特徴とする玩具組立要素。

【請求項 2】 請求項 1 に記載のマイクロプロセッサ制御の玩具組立要素において、複数のアイコン (204、205、206、207、208) を表示できるディスプレイ (104、508) を備え、該アイコンの各々はマイクロプロセッサ (102、507) への命令を表現し、かつユーザーが起動することにより、マイクロプロセッサのプログラミングが実行されることを特徴とする玩具組立要素。

【請求項 3】 請求項 1 乃至 2 のいずれか一項に記載のマイクロプロセッサ制御の玩具組立要素において、アイコンに対応する命令は、玩具組立要素に連結されたセンサからの信号に反応して起動手段を制御することにより、ルール (R 1、R 2、．．．、R 6) を実現することを特徴とする玩具組立要素。

【請求項 4】 請求項 1 乃至 2 のいずれか一項に記載のマイクロプロセッサ制御の玩具組立要素において、命令を無線受信するレシーバ (504、505) を備えることを特徴とする玩具組立要素。

【請求項 5】 請求項 1 乃至 2 のいずれか一項に記載のマイクロプロセッサ制御の玩具組立要素において、赤外線信号を受信するレシーバ (505) を備えることを特徴とする

玩具組立要素。

【請求項 6】請求項 1 乃至 2 のいずれか一項に記載のマイクロプロセッサ制御の玩具組立要素において、命令を手動入力するためのキーボードを備えることを特徴とする玩具組立要素。

【請求項 7】請求項 1 乃至 2 のいずれか一項に記載のマイクロプロセッサ制御の玩具組立要素において、命令を第 2 の玩具に無線伝送するための送信機（504、505）を備えることを特徴とする玩具組立要素。

【請求項 8】請求項 1 乃至 2 のいずれか一項に記載のマイクロプロセッサ制御の玩具組立要素において、前記機能呼出を光案内（503）を介して伝送するための送信機（504）を備えることを特徴とする玩具組立要素。

【請求項 9】請求項 1 乃至 2 のいずれか一項に記載のマイクロプロセッサ制御の玩具組立要素において、細長い光案内（503）を備え、それを通してその長手方向に可視光が伝送でき、前記光案内（503）が、伝送される可視光部分をその側部から流出させるようにされていることを特徴とする玩具組立要素。

【請求項 10】請求項 1 乃至 9 のいずれか一項に記載のマイクロプロセッサ制御の玩具組立要素を備える組立玩具において、第 1 と第 2 のマイクロプロセッサ制御の玩具組立要素（501、502）を備え、該第 2 のマイクロプロセッサ制御の玩具組立要素（502）がサブプログラム（R1、R2、．．．、R6）を有するメモリ（516）を備え、第 1 の玩具組立要素（501）からサブプログラムの呼出を受け取ることにより該サブプログラムを個々に起動できることを特徴とする組立玩具。

【請求項 11】請求項 10 に記載の組立玩具において、第 1 のマイクロプロセッサ制御の玩具組立要素はプログラムを作る操作手段（508）を備え、該第 2 のマイクロプロセッサ制御の玩具組立要素は、幾つかのプログラムのうちのまさに 1 つを起動させる動作手段を備えることを特徴とする玩具組立要素。